

第14回日本作業療法教育学会のお知らせ

テーマ 「教員も、臨床実習指導者も、作業療法士養成教育の意見交流」

会 期：2009年10月10日（土）午後～11日（日）

会 場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス (<http://www.kobegakuin.ac.jp/campus/port/access.html>)

主 催：日本作業療法教育研究会

参加費：会員3,000円、非会員4,000円

【プログラム】

10月10日（土）12:30より受付

13:00～13:10 開会の辞（宮前珠子会長）

13:10～14:40 模擬授業「AMPS」（茨城県立医療大学 齋藤さわ子さん）

14:50～16:00 模擬授業に関するディスカッション

16:15～17:00 総会

10月11日（日） 9:00より受付

9:30～11:30 養成教育ピアカウンセリング（学内・臨床実習の相互相談コーナー）

13:00～15:00 一般演題

15:00～15:10 閉会の辞

【演題募集】申し込みと抄録の締め切り（9月18日）

- ・演題発表は、1演題、発表10分、質疑応答5分の15分です。
- ・演題募集規定は、次ページの通りです。

【養成教育ピアカウンセリング】

教員と臨床の作業療法士（経験者、新任問わず）が、学内教育や臨床実習などでの様々な悩みを話し合い、具体的な取り組みを提案しあって、今後の養成教育に生かすパワーアップと仲間作りを支援するコーナーです。5つのブースを設けました。

①授業の展開と教員の自己省察：シラバス作成とティーチングポートフォリオ

コーディネーター 吉川ひろみ

②臨床実習を念頭においた授業と成績評価：PBLとOSCE

コーディネーター 宮前珠子 近野智子

③個々の学生を教育する立場からの臨床実習指導：臨床実習

コーディネーター 嘉納 綾 難波悦子

④国家試験への取り組みと就職活動

コーディネーター 村田和香 遠藤浩之

⑤作業療法教育全般

コーディネーター 岩崎テル子 山口昇

事前に参加希望ブースを選んでください（第2希望まで）。あわせて、相談したいこと、話し合いたいこと、知りたいことを、下記、参加申し込み先まで、お送りください。なお、参加人数の調整上、第1希望のブースに参加できない場合もあります。ご了承ください。

【参加申し込み先】

会場準備の都合上、参加をご希望される方は、件名を「第14回日本作業療法教育学会参加希望」としていただき、お名前、連絡先、ピアカウンセリング参加希望ブースと相談内容をご記入の上、9月30日（水）までに下記までお申し込みください。また、第1日目、総会終了後に懇親会を予定しています。その出席の有無も合わせてご連絡ください。

浜松大学保健医療学部 野藤弘幸（E-mail: hnoto@hamamatsu-u.ac.jp）

※ 参加希望メール到着後、折り返し受付の返信をさせていただきます。ご確認ください。

【一般演題応募規定】

1. 演題応募内容について

作業療法教育の学術的発展，教育者の資質と技能の向上に寄与する演題として受け付けます。ただし他学会等で発表された内容，または投稿中の論文等はお断りします。

2. 倫理的事項について

①対象者の同意について

倫理的事項を遵守し，本文中に対象者の同意についての記載を必須とします。

②最大限，倫理的な配慮を行って下さい

③委員会の要請に対する協力について

演題内容に関する倫理的配慮を証明する文書の提出や説明を求める場合があります。その場合はご協力願います。

3. 著者について

著者が，作業療法士である場合は，本会会員であることを条件とします。なお，著者の数は原則として5名までとします。

4. 抄録の長さについて

抄録の長さは，本文，文献，図・表合わせて，A4用紙2頁以内とし，図・表は明瞭なものを使用して下さい。

5. 執筆要領について

後出の「執筆要領」に従って下さい。

6. 採否について

原稿の採否は本学会委員会において決定します。場合により，加筆，修正をお願いすることがあります。なお，所定の枚数を超過した抄録は採用しません。

7. 演題の応募について

発表希望者は，①代表者氏名，②所属，③連絡先(郵便番号，住所，電話，e-mail アドレス)を明記の上，抄録原稿を添付し，件名は，「第 14 回日本作業療法教育学会演題応募」として，E-mail にて，下記応募先までお送り下さい。

8. 応募先

浜松大学保健医療学部 野藤弘幸

E-mail: hnoto@hamamatsu-u.ac.jp

【執筆要領】

1. 原稿は全て横書きとして下さい。用紙は，A4 用紙 2 枚以内とします。MS-Word2003 ファイルで作成して下さい。
2. 文字は全て明朝体を使用して下さい。
3. 表題頁には，表題 (15 ポイント，太字)，所属・著者名 (5 名まで)・key words (3 つまで) を 10.5 ポイントで記載して下さい。発表者名に○印をつけて下さい。抄録の本文は，10.5 ポイントで作成し，【緒言】，【方法】，【結果】，【考察】，【結語】が明らかになるように小見出しをつけて下さい。
4. 書式は，2 段組みで，1 行 25 文字程度で，余白は，上下左右ともに，2.5 cmを空けてください。行数は自由とします。
5. 文章表現は現代かなづかいとし，数字は算用数字，数量は国際単位系 (SI 単位) 記号を用いて下さい。(例；m,cm,mm,ml,kg,cm² など)。
6. 図表の数は自由としますが，できる限り明瞭なものを使用して下さい (白黒印刷です)。
7. 引用・転載にあたって，著作権についての配慮を行って下さい。

(抄録作成例)

